

第3回 「とちぎ戦後80年

栃木県立博物館企画展 連動講演

～親子で知ってみませんか、戦争のこと～

講師：栃木県立博物館特別研究員 小柳真弓氏

【日時】令和7年8月23日（土）午前10時～

【場所】KOBELCO 真岡いちごホール 小ホール

○ 講師 小柳真弓（こやなぎ まゆみ）

栃木県立博物館特別研究員

1978年 小山市生まれ。筑波大学第1学群人文学類史学専攻日本史コース（中世史専攻）卒業

2020年度より栃木県立博物館学芸部勤務

主な担当企画展等

2021年1月 テーマ展「生誕140年 野口雨情 ～童心の詩人と終焉の地、宇都宮」

2022年2月 テーマ展「戦争の“記憶”を引き継ぐ」

2023年10月 企画展「近代皇室と栃木 ～とちぎ御用邸ものがたり～」

2024年4月 テーマ展「ちらしも積もれば“宝”の山！～引札が彩る下野の正月～」

現在 特別企画展「とちぎ戦後80年～いま、おやと子で知る軍隊・戦争と栃木～」開催中

- 1 開会
- 2 講師紹介
- 3 講演
- 4 質疑
- 5 閉会

※本日の講演は、8月30日（土）から「真岡市役所 YouTube」でも見るができます
（許諾の都合によりスライド画像はなしになります）

「真岡市役所 YouTube」のアドレス https://www.youtube.com/channel/UCsIhedzg_VyxA7zmFaPLnUg

～次回（第4回）歴史教室～

『日光男体山山頂遺跡と勝道上人』

日光二荒山神社附属宝物館館長補佐：鈴木泰浩氏

9月13日（土）午前10時～、KOBELCO 真岡いちごホール（市民会館）小ホール

とちぎ戦後80年

いま、おやと子で知る軍隊、戦争と栃木

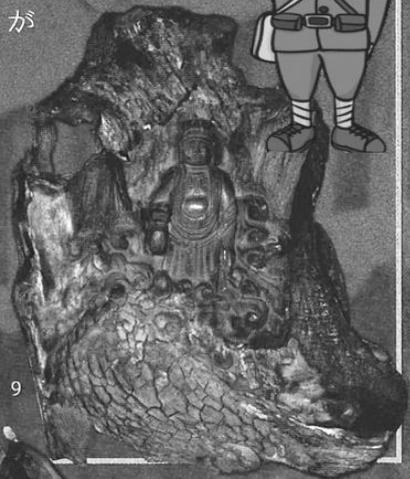
あの戦争から、八〇年――。

日本、そして日本国民にとっての「戦争」が終結して、今年でちょうど八〇年。戦争の時代を経験していない世代が日本の人口のほとんどを占め、実際に経験した人々の声を直に耳にする機会は目に見えて減ってきています。

しかし、八〇年前までは確かに、「軍隊」が政治や経済にとどまらず人々のくらしに隣り合う形で存在していました。そして人々は、「戦争」のただなかを生きていたのです。

本展では、明治時代初期の近代的な軍制が整えられた時期から、過酷な時代を生き抜いた人々が担った戦後の復興期までを中心に、数多くの資料をご紹介します。これらの資料たちは、「軍隊」と「戦争」の時代を生きた人々の姿を描き出し、戦禍が国民にもたらす影響の大きさを静かに物語ってくれるはずです。

戦後八〇年目の、夏。親と子で、または祖父母と子・孫で、「軍隊」そして「戦争」と栃木との関わりについて、知ってみませんか――。



6. アンガウル島の遺品 昭和19年(1944) 個人蔵(陸上自衛隊宇都宮駐屯地防衛資料館寄託)

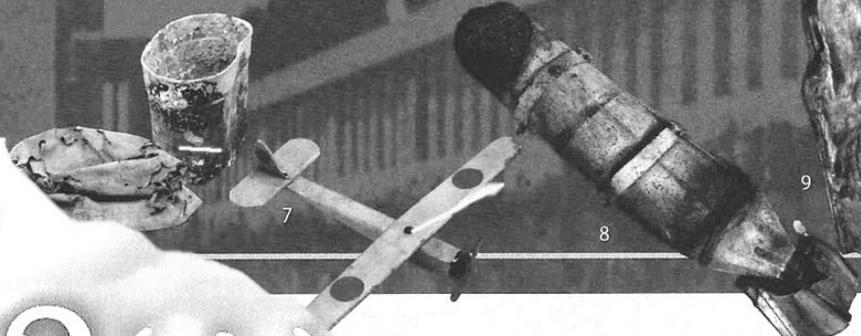


真岡市内出土の銃剣

真岡市内からも関連する資料を展示

- ・疎開児童保護者宛挨拶状
- ・中村国民学校の「戦争ごっこ」写真
- ・高田山専修寺、梵鐘供出に関する陳情書
- ・輸入放出キャンデー配給券に関する件
 - ・村葬の公告
 - ・昭和20年日誌
 - ・銃剣

ほか



2025
7/12(土)
|
8/31(日)

- 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(7/21・8/11を除く)、7/22(火)、8/12
- 観覧料 一般500(400)円、高・大生250(200)円
中学生以下無料